

平成27年度8月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成27年8月5日（水）午前11時00分～11時35分

場所 市役所2階第1委員会室

出席 市政記者クラブ10社

会見内容

（本題に入る前に）釧路市シティプロモーション事業及び第68回くしろ港まつりの開催について

- このたび、地元企業であります株式会社リリアブル様と連携し、「釧路市シティプロモーション事業」として、8月1日（土曜日）から9日（日曜日）までの日程で、東京都稲城（いなぎ）市の「コーチャンフォー若葉台店」にて「北海道釧路特集フェア」が開催されておりますので、ご報告いたします。
- 事業内容は、「コーチャンフォー若葉台店」の店舗内の一面に、釧路市にゆかりのある書籍、音楽CD、映画等のDVDを集めた特設コーナーを設置し、作家・作曲家など創作する方々の目をとおして表現される、釧路の良さ、素晴らしさを一堂に集め、「釧路市」をPRするものでございます。
- 併せて、涼しさの象徴と言われ、今全国的に話題となっている釧路市動物園の白くま「ミルク」を題材としたイラストをPRキャラクターとして用いており、猛暑で大変な東京圏の皆様に向けて、白くま「ミルク」が、釧路の「涼しさ」を配達するというストーリー仕立てのシティプロモーションとなっており、ポスターやお手元にお配りしておりますハガキを模したチラシ、さらには8月1日に開設しましたインターネット上の特設ページ上において、白くま「ミルク」が釧路のPRに一役買っている内容となっております。
- このフェア開催期間中は、同店での書籍購入者先着1万名様に釧路市オリジナルの「ミルク」しおりをプレゼントしております（※記者にも配布）。しおりに、シティプロモーション用の特設ページのQRコードも掲載しております。
- コーチャンフォー若葉台店での「北海道釧路特集フェア」は8月9日（日曜日）までの予定ですので、東京圏での紙面や番組等での報道をよろしくお願い申し上げます。
- 明後日、8月7日（金曜日）から8月9日（土曜日）の3日間、釧路の夏を彩る一大イベントとして開催しております「くしろ港まつり」が、はじまります。
- 今年で68回目を迎えますが、皆さまご案内のとおり、今年は初めての試みとして、まつりの雰囲気小さなお子様でも理解できるようにアニメ調で表現した

ポスターを制作したところであります。

- 北大通において開催される3日間の主なパレードの内容につきましては、8月7日（金曜日）に大小さまざまな山車（だし）が北大通を練り歩く大漁ばやしパレード、8月8日（土曜日）には約2,800名の市民が踊る市民踊りパレード、8月9日（日曜日）には市内の各学校（小・中・高）や幼稚園及び一般団体による吹奏楽の音色（ねいろ）に北大通が包まれる音楽パレードが行われる予定となっております。
- そのほか主な協賛行事といたしましては、北大通において「歩行者天国」、釧路川において「釧路港舟漕ぎ大会」、観光国際交流センターにおいて「釧路みなとコンサート」が実施されるなど盛りだくさんの内容となっております。
- 市民や観光客の皆様への広報について、各社のご協力をお願いします。

1. 話題提供（5項目）

1. 姉妹都市ホルムスク市への訪問について

- 今年は、ロシアのホルムスク市との姉妹都市提携40周年の節目を迎えます。（提携 昭和50年8月27日）
- 昨年5月28日から4日間の日程で、ホルムスク市長ほか3名の訪問団が釧路を訪問された折に、今年度の姉妹都市提携40周年にはぜひ、ホルムスク市を訪問してほしいとのお話があり、後日ホルムスク市から正式な招待を受けました。
- これを受けて、40周年を記念し、釧路市訪問団17名が、8月22日から26日までホルムスク市を訪問いたします。
- 出発にあたり、8月22日（土曜日）午後2時30分から釧路空港2階団体待合室で出発式を行いますので、取材方、よろしく願いいたします。
- 現地では、姉妹都市提携40周年記念式典や表敬訪問のほか、釧路公立大学の姉妹校であるユジノサハリンスク経済法律情報大学や昭和63年にわかき保育園と姉妹園の提携を行っているドルージバ幼稚園の訪問などを予定しております。
- ホルムスク市と釧路市は姉妹都市として、40年にわたり友好関係を築き上げてまいりました。
- 今後、より一層、市民交流の輪が広がり、両市の友好関係が次の世代へと引き継

がれていくことを期待しているところであります。

2. 第20回釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式等について

- 次に、「第20回釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式」等についてです。本年は、戦後70年の節目の年であり、釧路市としましても、「核兵器廃絶平和都市宣言」30年、「平和のモニュメント建立」20年という記念の年となります。その中で、第20回目となる「釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式」を8月15日（土曜日）に栄町平和公園にて開催いたします。
- 本式典では、戦後70年の拡大部分として、湖陵高校の合唱部による合唱を捧げ、例年参加いただいている明輝高校の吹奏楽部や北陽高校の放送局の皆さんと合わせ、多くの高校生に参列していただきます。
また、「戦後70年平和コンクール記念誌」を作成し、参列者に配付いたします。記念誌の内容は、平成13年以降の平和コンクール最優秀賞受賞者の作品を取りまとめたものになります。
- 加えまして、戦後70年にあたり、10月31日（土曜日）に開催する「平和のつどい」を拡充します。
「平和のつどい」は例年、中学校を巡回し実施しておりますが、今年度は観光国際交流センターにて広く市民を対象に実施いたします。
内容は、被爆地訪問市民代表団の学生によります発表、被爆者伝承講話、特別記念講演を予定しており、詳しい内容が固まり次第、ご報告したいと思います。
- 「釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式」につきましては、多くの市民の皆さまのご来場をお待ちしております。

3. 陸上自衛隊北部方面隊災害対処訓練（ノーザン・レスキュー）への参加について

- 陸上自衛隊北部方面隊において、8月26日（水曜日）から30日（日曜日）の5日間、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による大規模な地震津波災害を想定した災害対処訓練（ノーザン・レスキュー）が、北海道東部沿岸地域を中心に実施されます。
- 釧路市では、ノーザン・レスキュー開催地の自治体として、防災セミナーや実動訓練に参加・協力することとしています。
- 釧路市関係分における実動訓練は、8月29日（土曜日）に予定されており、

耐震旅客船ターミナルや西港、鳥取10号公園などが訓練場所となります。

- 主会場となる鳥取10号公園では、緊急支援物資広域輸送訓練や避難所運営支援、ライフライン復旧訓練、避難所への慰問演奏訓練などが実施されます。
- このことから、当日は、市も連携して、地域住民による津波避難訓練を行います。避難所は、鳥取西小学校体育館に開設し、鳥取西部連合町内会を中心とした、市民約300人の参加を見込んでいます。
- なお、例年、9月上旬に行っている、釧路市防災総合訓練につきましては、日程を変更して、10月9日（金曜日）の開催とし、釧路市防災庁舎を中心とした災害初動期の対処訓練を予定しています。
- 詳しい内容が決まり次第ご報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

4. リーフレット「8月1日は水の日！～水循環って、何だろう？～」の作成について

- 平成26年7月1日の水循環基本法の施行により、8月1日は「水の日」として法定化されたところでもあります。
- 上下水道部では、様々な広報活動で「水の日」の周知を図っていますが、このたび、子どもたちが「水の日」をきっかけに水の大切さを考え、水道・下水道への関心を高めることを目的としたリーフレットを初めて作成しました。
- 水は地球の中を循環している貴重な資源で、この日本では、普段意識することなく、豊かに水を使うことができる環境にあります。
- 蛇口をひねればきれいな水が出て、トイレやお風呂で使った水は簡単に流せてきれいに処理される。この当たり前の環境は、地球を巡る貴重な資源である水の一部を取り入れて、また、きれいな水に戻して循環させる、こうした地道な取組により維持しているということ、改めて皆さんにお伝えしたいという思いが込められています。
- リーフレットの配布対象とした小学4年生は、学校で浄水場・下水処理場の見学を初めて行う学年であり、約1,500部配布させていただいたもので、今後も毎年取組を行うものであります。
- 今後も、安全でおいしい水道水の供給、きれいで快適な暮らしを守る下水道の維

持に努め、市民の暮らしを支える重要な役割を担っていくため、このような取組を通じて、水道・下水道への関心を高めていただき、水の大切さを改めてご理解いただけるよう、さまざまな広報活動に取り組んでまいりたいと考えております。

5. 第2回 釧路国際生命倫理サマースクール&ラウンドテーブルの開催について (長期滞在者による地域貢献活動について)

- 釧路市では、くしろ長期滞在ビジネス研究会と連携し、「涼しい釧路で避暑生活」「花粉ゼロの快適空間」などをキャッチフレーズとした釧路市のPRや長期滞在者の誘客活動を進めております。
- 平成26年度においては、過去最多の295名の方々に釧路で長期滞在いただいたところであり、今年度においても既に250名を超える方々に滞在いただいております。
- そのような中、平成22年から夏の釧路での長期滞在がきっかけで毎年滞在されている岡山大学大学院の栗屋剛（あわや つよし）教授が中心となり、昨年度から大学研究者等によるサマースクールを開催いただいているところであります。
- 今年度も栗屋教授が委員長を務める実行委員会が主体となり、8月25日（火曜日）～29日（土曜日）までの5日間の日程で、30名を超える大学研究者等によるサマースクール&ラウンドテーブルを開催する運びとなりました。
- この取り組みは、夏季冷涼な釧路市の気候風土、官民連携の長期滞在事業の取り組み、食材や市民の方々のおもてなしの心に栗屋教授が感銘を受けられたことをきっかけに、栗屋教授の多大なるご厚意により、開催されるものであります。
- 長期滞在をきっかけに地域貢献活動を行っていただいている長期滞在の方々が増えている中、長期滞りに留まらず、滞在中にお持ちの見識やノウハウを市民へ還元いただき、市として大変ありがたく思っているところであります。
- つきましては、この取り組みを多くの方々へ周知いただきたく、取材方よろしくお願いたします。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ 生命倫理サマースクール&ラウンドテーブルですが、外国人の方は大学研究者ですか。長期滞在されているのでしょうか。

(市長)

- ・ 大学研究者でイラン、イスラエル、ドイツなどから、会議のために来釧されます。昨年度来られた方もいらっしゃいます。長期滞在者ではありません。

(質問)

- ・ 長期滞在事業の課題は物件の不足でしょうか。

(市長)

- ・ そうです。今年度、予算の中で設備投資の仕組みをつくりました。涼しい夏と冬の快適空間、秋の夕日と通年で滞在していただけるようになればと考えています。

(質問)

- ・ ノーザン・レスキューの件ですが、釧路東部沿岸地域で初めて行うものですか。北海道での初めての開催になりますか。また釧路市関係者は300人見込となっていますが、自衛隊も含めて全体では何人になりますか。

(防災危機管理監)

- ・ ノーザン・レスキュー2015は、道内では行われたことがなく、初めてとなります。自衛隊としては実人数で3,300人程度、その内、釧路市内では2,000人を超える隊員が8月29日を中心に参加すると聞いています。

(質問)

- ・ 8月29日以外では釧路市での訓練はないのですか。

(防災危機管理監)

- ・ 指揮機関訓練がこの週に入っていると聞いています。

(質問)

- ・ 北海道道東沿岸地域を中心ということで釧路市以外の他の市町村も参加するのでしょうか。

(防災危機管理監)

- ・ 訓練実施場所は、十勝管内、釧路管内、根室管内ということで、訓練の詳細は承知していませんが、根室市、厚岸町、標茶町も打ち合わせには参加しておりました。
- ・ 実動訓練は釧路市内で29日、30日となっており、31日は予備日となっております。29日が実動訓練の本番となります。

(質問)

- ・ 6月の定例市議会で旧日本銀行釧路支店の建物補修に、約15億円かかるということで、市民団体に調査結果を説明するとありましたが、説明されたのですか。その後、どのような方針が決まったのでしょうか。

(総合政策部長)

- ・ 現在、様々、関係団体等への打診など調整中ですので、現時点ではお答えできる内容はございません。

(質問)

- ・ JR 北海道が石北線の無人駅を廃止する方針を各自治体に打診していますが、釧路市にはそのような打診がありますか。

(市長)

- ・ 今のところ、そのような打診はありません。

(質問)

- ・ 雌阿寒岳で噴火レベル2への引き上げに伴い、観光への影響はありますか。宿泊のキャンセルなどがありますか。

(市長)

- ・ 観光関係者との協議の中でも、特に現在影響は出ていないとの話を聞いています。登山規制は足寄側の7合目以上ということになっておりますが、宿泊キャンセルはないと聞いています。

(質問)

- ・ 市としての対応は、どうなりますか。

(防災危機管理監)

- ・ 気象庁としても、地震の回数は減ってきているけれども、少し長いスパンで観測の必要があるとのことで、現時点でレベル1に引き下げることが検討していないとのことでした。市としても気象庁の発表を注視しながら登山者に情報を提供してまいります。

(質問)

- ・ 一端レベルが引き上げられた場合、一般的にどれくらいの期間でレベル1にもどるものなのでしょうか。

(防災危機管理監)

- ・ 通常、レベル1は火山性地震が0回程度なのですが、現在1日に15回程度は発生していますので、火山性地震がつづいている中では数か月単位で経過を観測したいとのことです。